

東海道線陥没

2017年1月11日1時25分頃、東海道線では岡崎～西岡崎駅間において陥没が見つかり、15時間以上、運転見合わせになりました。

現場は西岡崎駅から東に約700メートルの鹿乗川にかかる橋の手前部分で、線路脇の陥没は長さ約8メートル、幅約7メートル、深さ最大1メートルにわたり、川の方に向かって敷石と盛り土が流失し、線路の下に空洞ができていました。鹿乗川では県事業で河川の改修工事が行われており、線路の土台部分に水が流れ込んだ可能性があると言われてい

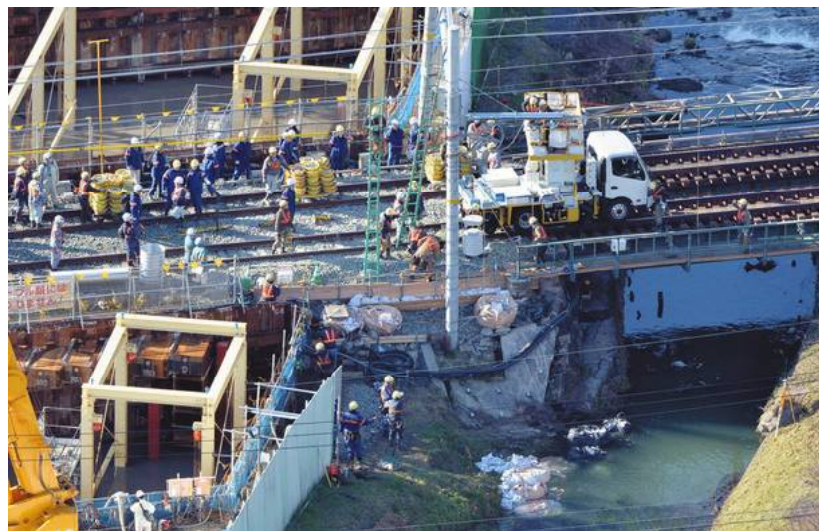
地本は申し入れを行う

一歩間違えれば列車脱線、転覆もあり得た事故であり原因究明と今後の対策が求められることから、名古屋地本は申8号で緊急申し入れを行いました。

えっ、提出した日に業務委員会開催拒否

中日新聞より

しかし、会社は申を提出するとすぐに「今回の件に関しては工事の発注が本社であり、地方では業務委員会を開催しない」と開催拒否を通告してきました。この間、本社・本部間で地方の問題を議論しようとするると本社は「地方の問題は本社では交渉しない」と開催しないことが多くありました。また、大きな事故・事象では本社でも東海鉄事でも



業務委員会を開催してきた経緯があります。これほど早く業務委員会を拒否することには、何か思惑があるのかと疑ってしまいます。

地方には地方でしか分からないこともあります。申し入れを行えば、本社でも東海鉄事でも別々に議論することが、より安全を希求するということです。会社に組合軽視の姿勢を改め早急に業務委員会の開催を要求します。